

お花
商店街

キクの品種

日本人には馴染み深いキクの花ですが、最近では色鮮やかな品種も増えてきました。青森県産の花ブランド確立を目指し、幅広い用途が期待される新しい花色の本県オリジナルキク品種を育成しました。

この新品种の普及拡大に向けた取り組みが県内各地で進められています。

農林総合研究所



レモンスマイル

8月咲きの品種で、花色は淡い黄色です。真夏の暑い季節に咲く爽やかなレモンイエローの花は、花束やアレンジメントで主役の花を引き立てる名脇役です。

花と蕾も多く、切り花として長く楽しめます。

名前の由来は、レモンイエローの花色が微笑んでいる様子をイメージしたものです。



あけぼのの舞

12月咲きの品種で、花色は赤茶色です。花びらの付け根は黄色で、色の対比が美しい品種です。

花と蕾が10個ほどつきますので、切り花として長く楽しめます。

名前の由来は、明け方の空を思わせる色と、艶やかな舞姿をイメージしたものです。



あかねの舞

12月咲きの品種で、花色は濃紫赤色です。花びらの付け根は白色、花の芯は黄色になり、1輪で3色の調和を楽しめる品種です。

花と蕾が10個ほどつきますので、切り花として長く楽しめます。

名前の由来は、夕焼けの空を思わせる色と、艶やかな舞姿をイメージしたものです。



デルフィニウムの品種

デルフィニウムは青色の花色を中心とした、ディスプレイ等に用いられる花です。冷涼な気候を好み、本県に適するため県では振興を図っており、農総研では特徴のある花色で品質の揃いの良い6品種を育成しました。その姿は槍（スピア）をイメージさせるので「スピアシリーズ」と命名され、県内で作付けされています。県内の種苗店から種子または苗が販売されています。

農林総合研究所

ブルースピア



赤味のない鮮やかな青色の花色で、草丈が高く、花数が多く、ボリューム感のある品種です。大型のディスプレイや盛り花に使用されています。4月にハウス内に定植すると、7月下旬に開花する晩生の品種です。

ピンクスピア



市販品種にない、澄んだピンク色の花色で、草丈が高く、日持ちの良い品種です。柔らかな色合いで他の花にも合わせやすくブライダル等の需要が見込まれます。4月にハウス内に定植すると、7月中旬に開花する中生の品種です。

スカイスピア



空をイメージさせる美しい水色の花色で、花数が多く、茎が固い品種です。ディスプレイや大きめのアレンジなどに使用されます。4月にハウス内に定植すると、7月下旬に開花する晩生の品種です。

なつぞらスピア



赤味のない鮮やかな青色の花色で、関東市場向けの小振りな草姿の品種です。4月にハウス内に定植すると、「ブルースピア」より10日程度早い、7月中旬に開花し継続出荷が可能となります。

イエロースピア



非常に珍しい淡黄色で、大きな花をつける、中程度のボリュームの品種です。ディスプレイのほか、花束やアレンジ等広い用途に使用できます。4月にハウス内に定植すると、7月下旬に開花する晩生の品種です。

アメジストスピア



アメジスト（紫水晶）をイメージさせる透明感のある淡紫色で、草丈が高くボリューム感がある品種です。大型のディスプレイや盛り花等への利用ができます。4月にハウス内に定植すると、7月下旬に開花する晩生の品種です。